

東海大学大学院 2017年度 家族看護研究会



家族看護学研究室では家族看護を様々な理論やツールを用いて分析

今回は、家族エンパワーメントモデルを使用して事例検討を行います。



事例紹介

「緩和病棟に入院している、卵巣癌・I型糖尿病がある80代女性。
自宅退院を希望する患者と自宅退院を希望しない家族に対し、
どのように調整をしていくか」

プロフィール：栗田智美先生 鶴巻温泉病院 家族支援専門看護師

2009年に家族支援専門看護師の資格を取得され、情報量もスピードも圧倒的な現代において、複雑な状況に対峙するご家族に、改善策や打開策を提案するなど、所属施設にてご活躍されている。



2018年1月27日 土曜日

13:00~16:00

場所：大学伊勢原キャンパス 3号館1階会議室

アクセス：小田急小田原線「伊勢原駅」下車徒歩20分

バス10分(東海大学病院下車)

問合せ先：0463-93-1121(代表) 担当：井上

研究会ホームページ：<http://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp>

メールアドレス：kazoku@tokai-u.jp

